

中間発表

グループ2

1225114 内田裕基

1225120 坂本康明

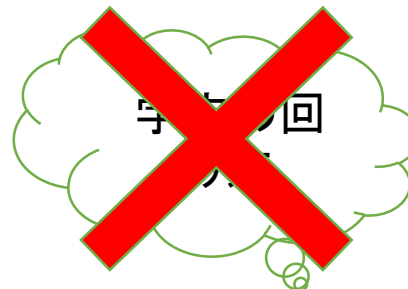
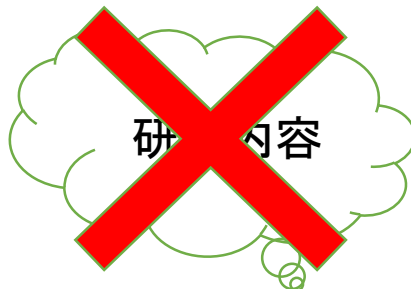
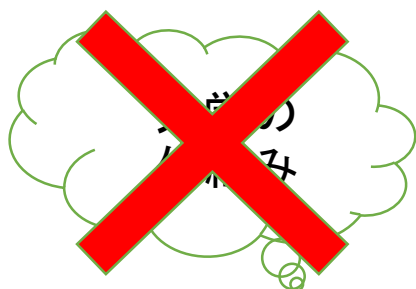
1225121 佐野稜太

1225129 森康浩

1225130 山崎侑一

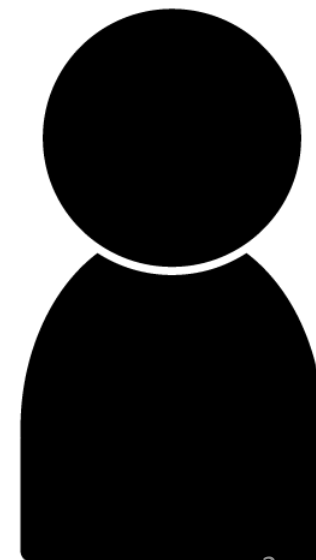
背景

- ・オープンキャンパス参加者



取り敢えず適当に回ろう！

大学側で各情報を提供しているのにも関わらず
にそれらの情報を収集できない可能性がある



目的

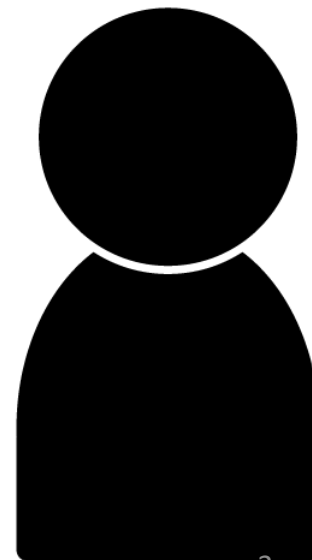
- ・ オープンキャンパスの各施設/プログラムに関する情報の提供

自身の興味のある情報

情報を提供できる場所

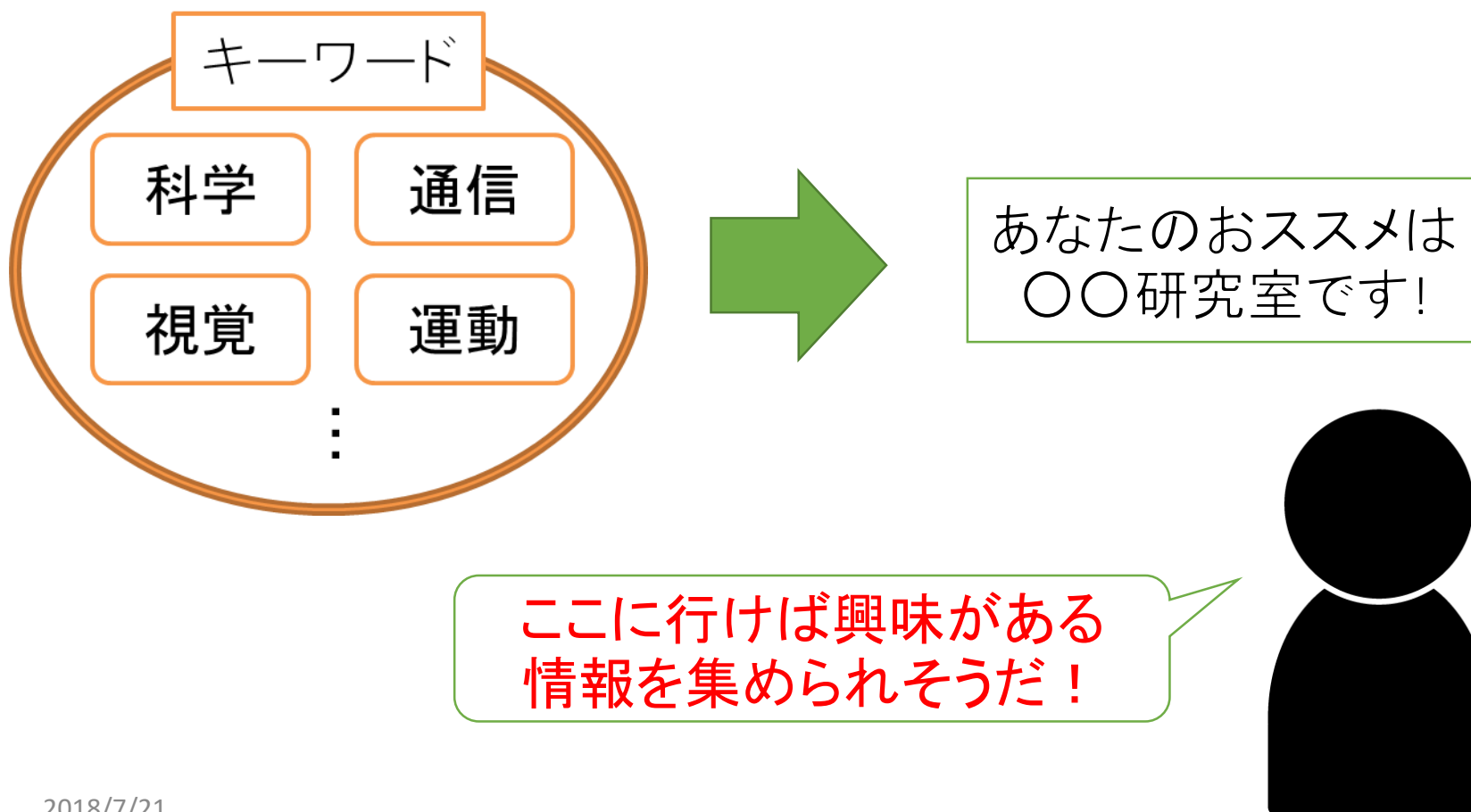
場所を回るための時間配分

これ位の事前情報があれば当日の苦労は少なそう



問題解決への提案(1/2)

- キーワード検索



問題解決への提案(2/2)

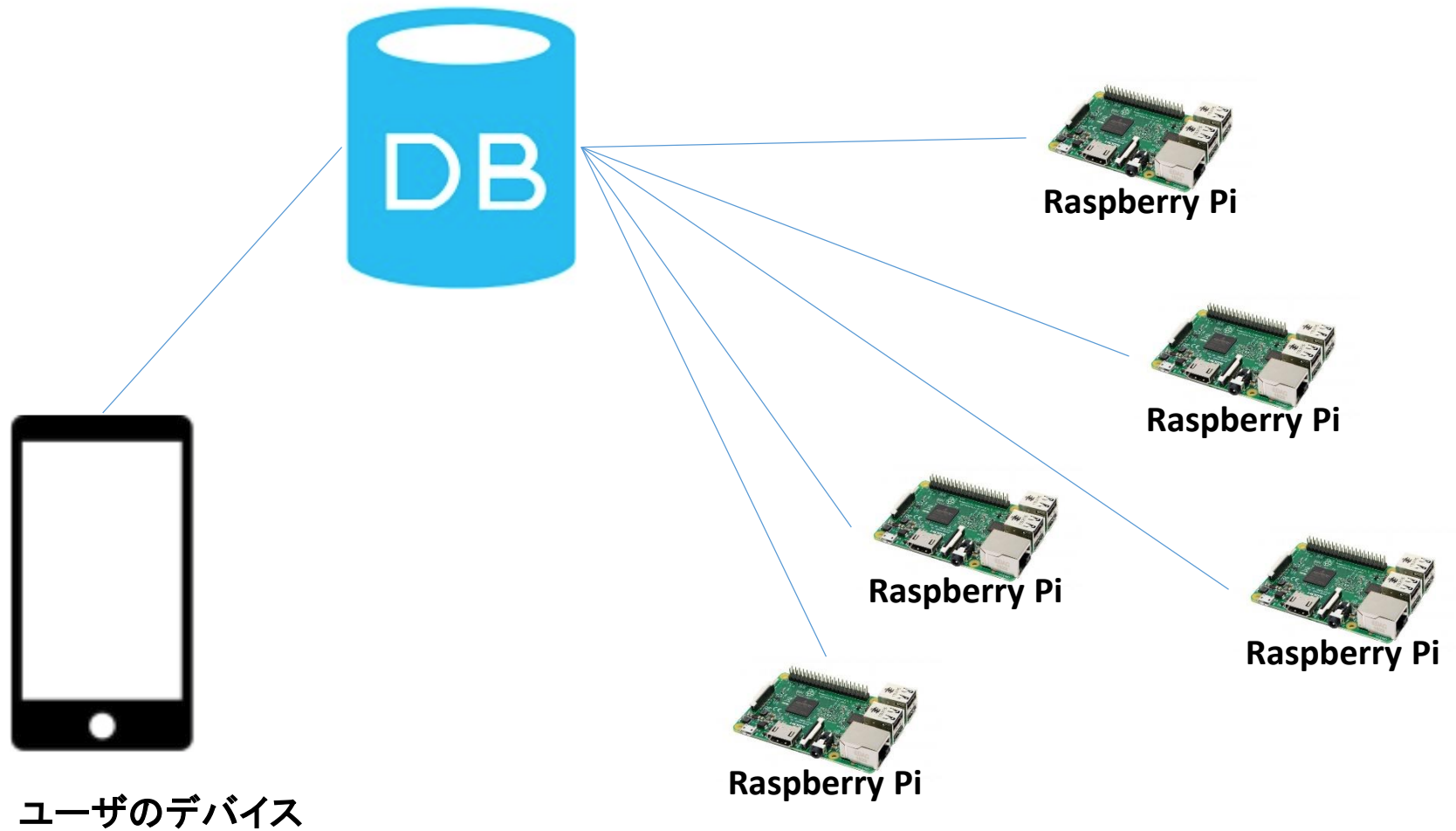
- 混雑状況確認



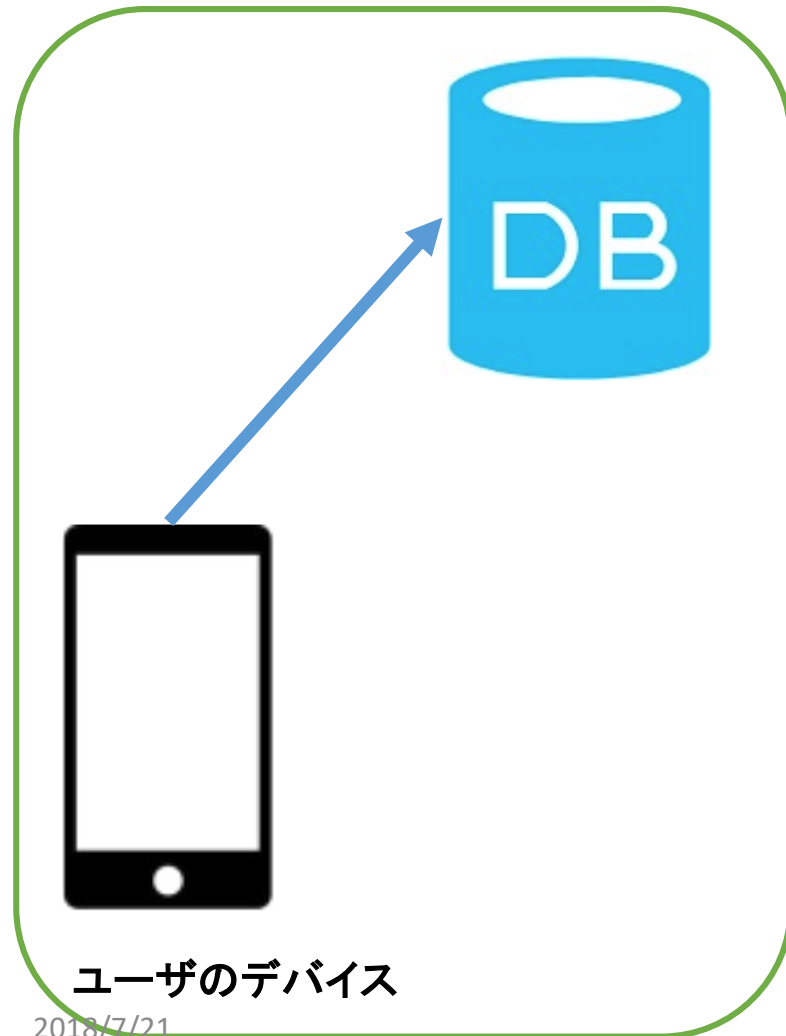
その研究室って今どれ位
見学者が居るのかな?

混雑状況が過ぎるまで
別の研究室を見学しよう!

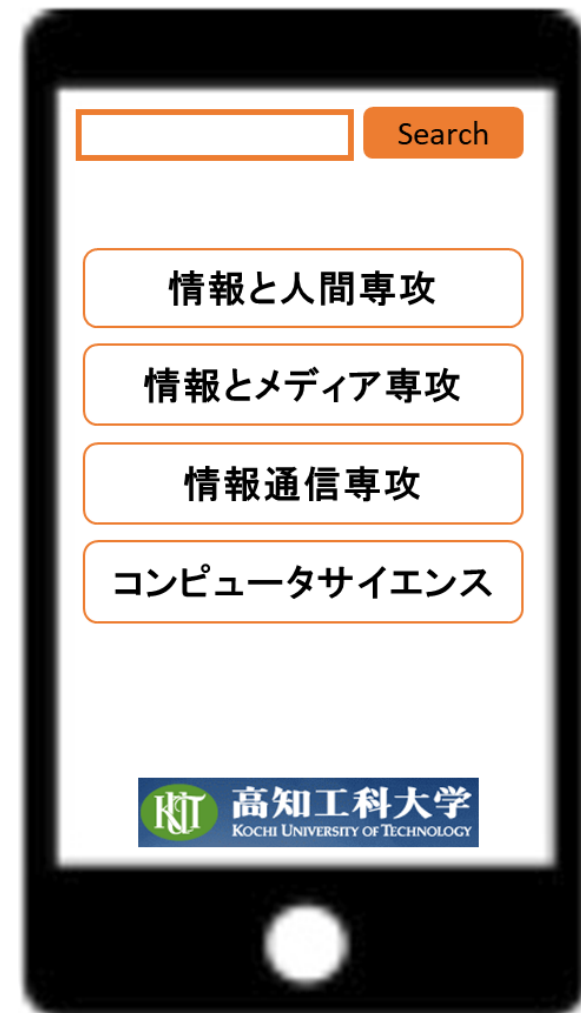
システム全体図



データの流れ



Webページからキーワード
を選択・入力情報を送信

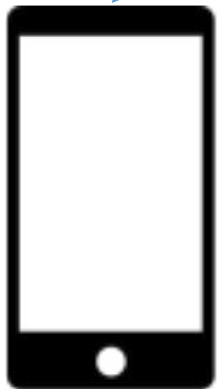


データの流れ

新たなキーワード、場所の表示



該当するキーワードから紐づけ
されているキーワードや関連の
ある研究室などの情報を返信



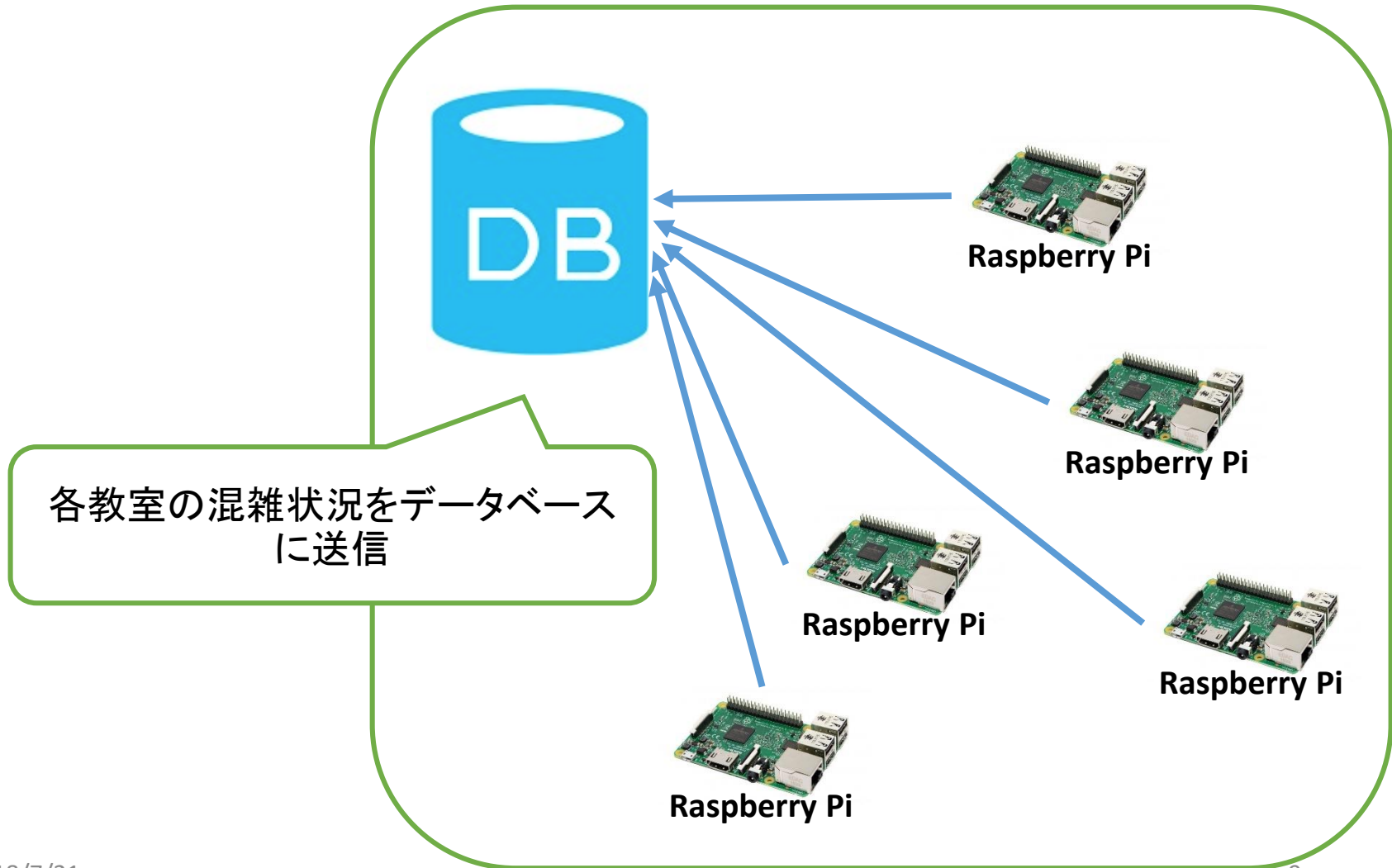
ユーザのデバイス

あなたのおススメは
〇〇研究室です!

- 場所 : A-〇
- 指導教員 : 〇〇
- 研究内容
 - ...
- キーワード
 - ...
- 混雑状況 : やや混雑



データの流れ



混雑状況の取得

- 人体感知センサーモジュールを用いた混雑度の把握

外側
(センサA)

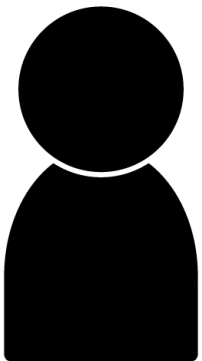


内側
(センサB)



Raspberry Pi

ドア



人感センサの課題

- 人感センサの性能
 - 距離
 - 精度
- 複数人同時に入退室した際の処理
- ケーブルの通し方

今後の計画

- DBの設置
- DBにデータ入力
 - キーワードの決定
 - 施設の情報の収集
- 人感センサの試験運用
 - Raspberry PiからDBへ送信
 - 混雑状況の評価
 - 混雑の指標
- Webページの作成